

くすりのしおり

内服剤

2015年07月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：スルトプリド塩酸塩細粒 50%「アメル」

主成分：スルトプリド塩酸塩(Sultopride hydrochloride)

剤形：白色の細粒剤

シート記載：



この薬の作用と効果について

脳内伝達物質（ドパミン）の作用を抑制し、気分を落ち着かせる効果があります。通常、そう病、統合失調症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。心不全、パーキンソン病、脳障害（脳炎、脳腫瘍、頭部外傷後遺症など）の疑い、プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量はくく** ：医療担当者記入>>
- ・ 通常、成人は1日0.6g～1.2g（スルトプリドとして300～600mg）を数回に分けて服用します。治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されますが、1日3.6g（主成分として1,800mg）を超えないようにしてください。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合はできるだけ早く1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などが低下することがありますので、車の運転、高い所での作業、危険をとまなう機械の操作などは避けてください。
- ・ 制吐作用を有するため、他の薬による中毒などによる嘔吐症状を不顕性化することがあります。
- ・ アルコール（飲酒）は薬の中樞神経を抑える作用を強めることがありますので、お酒を控えてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、振戦（手足の震え）、アカシジア（運動不安と知覚異常）、筋肉のこわばりなどの錐体外路症状、眠気・傾眠、発疹、かゆみ、肝障害などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 筋の強剛、嚥下困難、頻脈、血圧の変動、発汗〔悪性症候群〕
- ・ 口の周囲などの不随意運動〔遅発性ジスキネジア〕
- ・ どうき、息切れ、脈が乱れる〔QT延長、心室頻拍〕
- ・ のどの痛み、頭痛、発熱〔無顆粒球症、白血球減少〕
- ・ 息切れ、手足の痛み、胸の痛み、むくみが起こる〔肺塞栓症、深部静脈血栓症〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。